

運 営 推 進 会 議 開 催 報 告 書

開催日時 令和 2年 11月 9日 (月)

参 加 者	議 題
利用者 1名	・運営状況報告
地域住民の代表者 1名	・活動内容、改善事例紹介
学職経験者 1名	・今後について
市職員 1名	・質疑応答
地域包括支援センター 1名	
事業所 1名	

会 議 録

※コロナウイルス感染防止のため開催中止となりました。各参加予定者様には書面での報告をさせていただき、それに対してご意見・ご感想をいただく形となりました。

1. 運営状況報告 (資料参照)

利用者の介護度別・曜日別の利用状況、人員体制、一日の流れを報告。

2. デイサービスでの日々の活動内容・利用者の様子について紹介

マシントレーニング・個別機能訓練の説明、訓練による改善事例紹介。

3. コロナウイルス感染予防対策についての報告。

4. 質疑応答・意見交換

利用者ご家族様より：

・利用してからもうすぐ一年になります。当初、言葉もうまく出ず、自分を表現するものままならない状態でしたが、最近では自分の意思もはっきり伝えられるようになり、心も安定してきました。皆様のお陰と感謝しております。足の状態も少しずつではありますが、動きが見られます。本当にありがとうございます。

⇒こちらこそありがとうございます。来所当初は歩行訓練やトイレへの移乗等もスタッフ二人での介助しなければいけない程でしたが、現在では立位保持もほぼ自力で行うことができるようになっていました。また、発語の困難さもありコミュニケーションが取り辛かったりご本人様の訴えに対して思っていた通りの介助ができなかったりといったこともありましたが、現在では全く支障なくコミュニケーションを取ることができるようになりました。他の利用者様とも会話を楽しむことができたり、様々なことに興味を持たれるようになりました。これは私たちスタッフだけではなく、ご家族様の関わり方が大きな力となっていると思います。運動やリハビリを主としている当施設ではADLの維持向上や身体機能の低下の予防はもちろんことだと思いますが、QOLの向上についても考えながら利用者様それぞれが楽しく生きがいを感じていただけるようなアプローチを行っていきけるようスタッフ一同心がけていきたいと思っています。

地域住民の代表者様より：

1の運営状況の中、曜日別利用状況では週何回通ってみえますか。

⇒全体的には週1回の方から週5回の方までいらっしゃいますが、利用者様のほとんどが週2~3回で通われている方がほとんどです。

2の改善事例報告では、ご本人様もでしょうが皆様の努力がうかがえます。事故報告も原因・再発予防策

もしっかり考慮され、良いと思えました。新型コロナウイルス対策も作業が増え大変とは思いますがよろしくお願ひします。

⇒ありがとうございます。普段から常に転倒などの事故が防止できるよう危険予測しながら利用者様と関わらせていただいているつもりですが、それでも予測しきれない事態が起こってしまうことがあります。それについては再度同じようなことが起きないよう他のスタッフと事故原因の追究、事故後の対応や予防策について話し合い、情報共有していきたいと思ひます。新型コロナウイルス予防対策については終息時期も予測できずいつもよりもさらに緊張感があり大変だと思ひますが、利用者様が安心してデイに来所していただけるよう今後も予防対策を徹底していきたいと思ひます。

包括支援センター職員様より：

コロナ渦で非常に大変だと思ひますが、引き続き感染予防対策を取りながら、運営していただければと思ひます。今後ともよろしくお願ひします。

⇒ありがとうございます。感染対策については常日頃から行っていた消毒や手洗いに加えてそれ以上の対策を行っております。それに対して理解してくださる利用者様もいれば理解が難しい利用者様もいます。そういった中でも皆様が不安のないように感染対策を徹底し、また理解が難しい利用者様に対しても理解していただけるように声掛けして行っております。緊張感は増しましたが、皆様が安心していただけるよう今後も努めていきたいと思ひます。

市職員様より：

口腔機能向上加算について、現在口腔機能訓練を行っている人(加算を取得している利用者)は何名いらっしゃいますか。また、口腔機能向上トレーニングを行うことで利用者にとどのような効果が出ているか事例があれば教えていただきたいです。

⇒現在約 15 名程が加算を取得されています。口腔機能訓練については、取得以前からも食事前に口腔体操を行っており、その効果についてご家族様より「体操をしてもらってるからこそ今も問題なく食事をとることができています」とおっしゃっていただくこともあります。取得されている利用者様には嚥下・咀嚼・呼吸・清潔の 4 つに分け、それぞれの中で機能低下やその恐れのある部分をメインに、より専門的で個別的な訓練を行っていきますが飛躍的に変化がみられるかということと実際は難しいところがあります。しかし、訓練を行うことで口腔訓練の重要性についての理解や意識付けはできていると感じております。また麻痺のある方が来所当初は発語が単語のみで理解がしづらい状態でしたが、訓練などにより発語も多くなり、会話も成り立つようになりました。現在はコミュニケーションも問題なく取ることができております。また、むせも多く食事も介助が必要な状態でしたが、むせも少なくなり見守りはしておりますが介助なく食事をとることができております。他にも呼吸機能訓練を重点的に行っていた方については訓練を実施したことで姿勢の改善にもつながっております。今後も定期的な問診や観察により評価しておりますのでより分かりやすい効果をご報告できるようにしていきたいと思ひます。

次回開催は令和 3 年 3 月開催予定です。